

私たちと水

小学校 年 組

名前

倉敷ダム

1961(昭和36)年に建設された利水専用の旧瑞慶山ダムが、国と沖縄県企業局の共同事業として利水と治水の両目的を兼ねた多目的ダムに再開発され、1996(平成8)年4月、倉敷ダムとして生まれ変わりました。沖縄本島は年平均降水量が約2,000mmと雨が多いことが特徴ですが、台風が襲来する夏期や梅雨時に降雨が偏っているため、洪水や渇水の被害を受けやすくなっています。倉敷ダムは、そのような洪水による被害を防除し、水道水の安定供給を図り、水と人の暮らしの調和を図っています。

沖縄県

1 くらしの中の水

●水の昔といま

もくじ

1.くらしの中の水

水の昔といま

現在の水源

私たちは水をどのように使っているの!?

使った水はどうなるのだろう

2.水ができるまで

水は私たちのもとにこうして届きます

私たちはどこから送られた水を飲んでいるのか

3.水をつかう

沖縄の水資源のようす

私たちにできる節水

水の有効利用・再利用

施設を使った水の再利用

水資源と環境を守るためにはどのようにしたらよいか

4.資料

川にはどのようないきものがいるのだろう

水源マップ



水道がまだなかったころ、人々は知恵をしばって雨水をためました。川もなく地下水にもとぼしいところでは、雨水を庭木から集めたり、また雨どいを通して屋根にふる雨水をタンクにためたりしました。タンクを利用する方法は、現在でも一部の地域で利用されています。こうして集めた雨水は天水^{てん すい}とよんで大事に使いました。



水道ができる前の話

「カー」って「川」じゃないよ。



昔、水にはふべんしたさあ。飲み水は天水を使ったり、カーまでくみにいったりしてねえ。だから、カーには近所の人たちが集まってね。洗たくしながらワイワイ話してよ、おかしかったさあ。みんなの水だから、それは大切に使ったよ。カーというのは、井戸水や湧き水、それに自然の泉のことだよ。浅い井戸になっているのは単にカー。かけ樋(水路)で水を引いてね、その前に水ためをつくってあるのを樋川(ヒージャー)というんだよ。

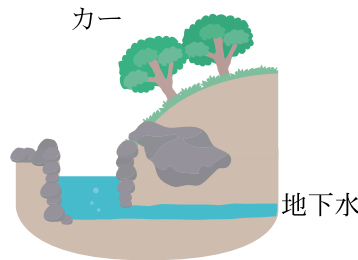
地下水



ヒージャー



カー



かきのはなひーじゃー なんじょうし
垣花樋川(南城市玉城垣花)

木々がおい茂った林の中腹からさかんに水がわき出て、長い石樋がかけられています。この地下水は、昔も今も垣花の生活用水として役だっています。

全国各地の美しい川や泉を守り、後世に伝えていくという目的でおこなわれた環境省の「名水百選」に選ばれました。

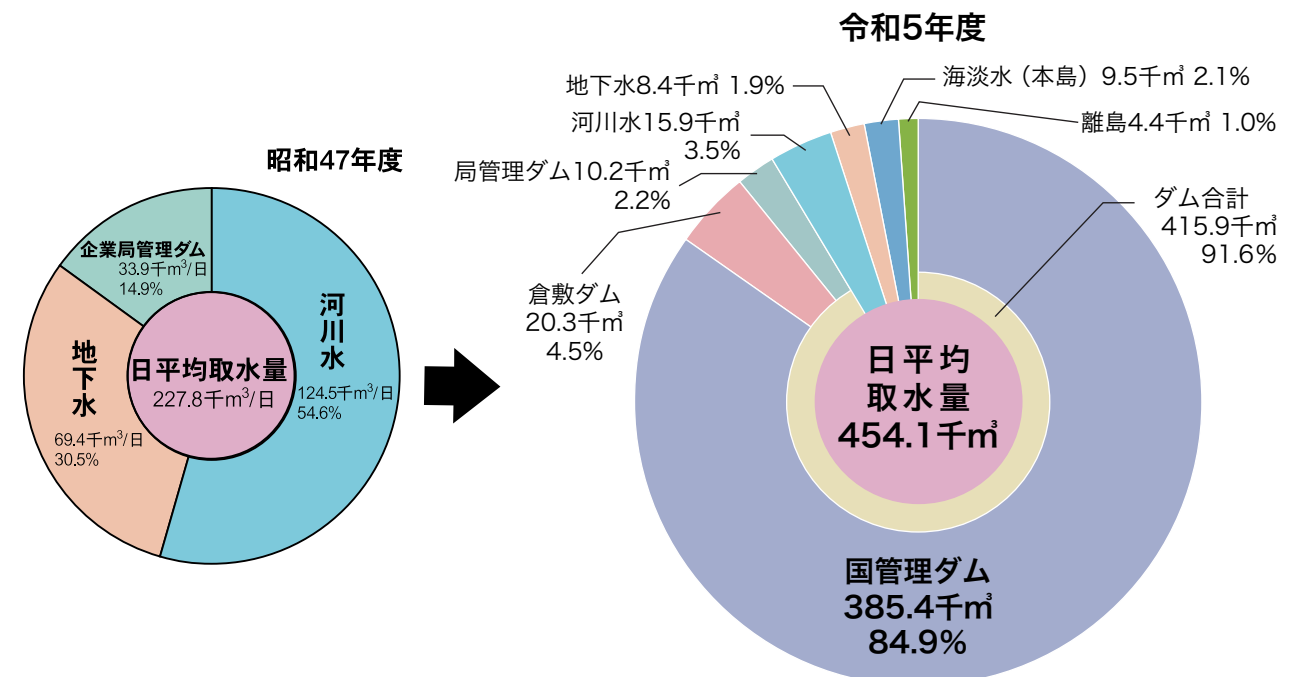


「井戸水」を使っていた頃から時を経て、戦後、県内各地で「川の水」や「地下水」を水源とした水道が普及します。

しかし、沖縄本島では水を大量に使う社会への変化、人口の増、そしてたびたび襲ってきた干ばつにより水不足がひんぱんに発生しました。

そのような中、水不足の心配の無い社会づくりが求められ、「ダム」が建設されるようになりました。「ダム」は、昭和47年の日本復帰以降、次々に建設され、今では最も大きな水源となっています。

一日あたりの水源別取水量 (沖縄本島)



参考資料: 沖縄県企業局概要2024

ダムとぼくたち

昔はカーまで毎日水をくみにいって大変だったんだね。カーは大切な水源だったわけだ。

今はカーまでいなくても、じゃ口をひねれば水が出てとても便利だ。これは水源となるダムのおかげでもあるんだね。

でも、日照りがつづくと水不足になるのは今も同じだ。沖縄本島のダムの飲み水も雨が降らないと10か月でなくなってしまうんだって。昔はみんなでカーの水を大切に使っていた。ぼくたちも水道の水を自分だけのものと思っはいけないんだね。



●現在の水源

■ダム、河川

深い緑でおおわれた沖縄本島の北部の山々は、重要な水源地となっており、地元北部の人たちの協力のもと、ダムが集中してつくられ、今では、沖縄本島の水がめといわれています。

これら北部の国管理9ダム(福地ダム、新川ダム、安波ダム、普久川ダム、辺野喜ダム、漢那ダム、羽地ダム、大保ダム、金武ダム)と、中部の県管理ダム(倉敷ダム)、企業局管理ダム(山城ダム)のほか、中北部の河川水が、沖縄本島の主な水源となっています。

一方、その他離島では、地下水や河川水が主な水源となっています。



タナガーグムイ (国頭村)



福地ダム (東村)

■海水淡水化施設

本土のように大きな河川がなく、中小河川が多い沖縄は、ダムや河川からの取水には限りがあり、たびたび水不足に悩まされてきました。

そのための工夫として、平成5年度から本島中部の北谷町で海水淡水化施設の建設が進められてきました。沖縄のきれいな海を水源として、天気にも左右されず、いつでも海水から真水をつくるというものです。この海水淡水化施設では平成9年4月から1日あたり約4万トンの水を生産することができるようになりました。

また、ダムの開発が困難で水源のほとんどを地下水や天水に頼っていた、南大東村、北大東村、粟国村、渡名喜村、竹富町波照間、座間味村座間味、阿嘉・慶良間の離島では、海水淡水化施設により水不足が解消され、いつでも安心して水が使えるようになりました。



海水淡水化センター (沖縄県企業局)

海水から真水をつくる装置

●私たちは水をどのように使っているの!?

家庭



1位 風呂・シャワー



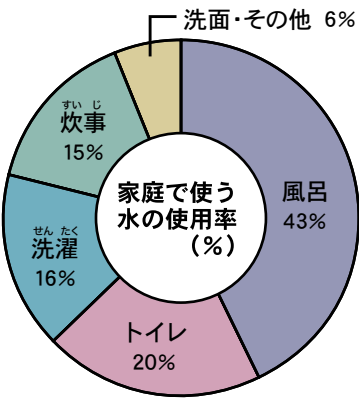
2位 トイレ



3位 洗濯^{せんたく}



4位 炊事^{すいじ}(食事)関係



5位 その他

参考資料：東京都水道局令和3年度
一般家庭水使用目的別実態調査

家庭でもいろいろなことに水を使っています。特にたくさんの水を使うのは、風呂・シャワーです。2番目はトイレ、3番目は洗濯^{せんたく}となっており、この3つで全体のほぼ8割の水を使っています。



開南小学校(那覇市)

学校

手洗い場、プール、トイレなど、私たちは学校でもいろいろなことに水を使っています。
また、給食センターでも、給食を作るときに多くの水を使います。

農業



豊見城市

農作物は土の中の水が不足すると水をまかななければなりません。雨が少
ない場合は、スプリンクラーなどで水をまき、成長を助
けます。

工場 (火力発電所)

電気をつくるには、まずボイラーで水から高温高圧の蒸気をつくり
ます。このとき、大量の水が使われます。蒸気でタービンを回転させ、そ
の力を発電機につないで電気を発生させます。
電気づくりに水は大切な役割をはたします。



火力発電所

消火活動



消火訓練風景

火事の場合の消火活動には大量の水
が必要です。水は私たちの命や暮らし
を守る大切な役割をはたします。

●使った水はどうなるのだろう

